

# スポーツ心理学実験演習 報告書

学生番号：0900036	提出日：2002年6月13日
氏名：原口 恵	

## 課題

視覚機能の測定(動体視力測定)

## 目的

球技をやっている者とそうでない者の動体視力の違いを知る

## 方法

視力検査機

## 結果

動体視力(KVA) 両眼

動体視力(KVA) 右眼

動体視力(KVA) 左眼

A群	被験者	年齢	性別	SVA	KVA	減少率(%)	その他
1	自分	20	女	1.0	0.5	48.0	バドミントン
2	押切麻衣子	20	女	1.4	1.0	31.4	サッカー
3	濱中美己子	20	女	1.0	0.6	42.0	バスケット
4	西川江梨子	20	女	1.1	0.6	47.3	バレーボール
5	朝比奈亮	20	男	1.0	0.4	64.0	バスケット
6	佐溝裕司	20	男	1.5	0.9	38.7	ラグビー
7	加藤彰子	20	女	1.2	1.0	16.7	ソフトテニス
8	尾崎純平	20	男	1.2	1.1	11.7	野球
9	木村幸靖	20	男	1.5	1.4	4.7	野球
10	有賀政春	20	男	1.3	0.7	43.1	ラグビー
				平均値 mean	1.22	0.82	34.74
				標準偏差 SD	0.20	0.32	18.56
				標本数 N	10	10	10

A群	被験者	年齢	性別	SVA	KVA	減少率(%)	その他
1	自分	20	女	0.9	0.5	48.9	
2	押切	20	女	1.2	1.0	15.0	
3	濱中	20	女	0.8	0.4	55.0	
4	西川	20	女	0.9	0.5	42.2	
5	朝比奈	20	男	1.0	0.4	64.0	
6	佐溝	20	男	1.3	0.7	44.6	
7	加藤	20	女	1.0	0.8	20.0	
8	尾崎	20	男	0.9	0.8	11.1	
9	木村	20	男	1.3	0.9	33.1	
10	有賀	20	男	1.0	0.9	12.0	
				平均値 mean	1.03	0.68	34.59
				標準偏差 SD	0.18	0.24	19.16
				標本数 N	10	10	10

A群	被験者	年齢	性別	SVA	KVA	減少率(%)	その他
1	自分	20	女	1.0	0.3	72.0	
2	押切	20	女	1.3	0.9	33.8	
3	濱中	20	女	0.7	0.4	40.0	
4	西川	20	女	0.8	0.6	30.0	
5	朝比奈	20	男	0.9	0.3	64.4	
6	佐溝	20	男	1.2	1.0	18.3	
7	加藤	20	女	0.9	0.8	11.1	
8	尾崎	20	男	1.1	0.7	38.2	
9	木村	20	男	1.3	1.0	20.8	
10	有賀	20	男	0.5	0.5	-4.0	
				平均値 mean	0.97	0.65	32.47
				標準偏差 SD	0.26	0.27	23.11
				標本数 N	10	10	10

B群	被験者	年齢	性別	SVA	KVA	減少率(%)	その他
1	青野竜也	20	男	0.5	0.2	60.0	陸上
2	加藤光平	20	男	1.3	1.2	4.6	陸上
3	近藤裕彰	20	男	0.9	0.1	84.4	陸上
4	服部将成	21	男	0.9	0.6	35.6	格闘技
5	内田寛美	20	女	0.9	0.4	55.6	水泳
				平均値 mean	0.90	0.51	48.03
				標準偏差 SD	0.28	0.44	29.86
				標本数 N	5	5	5

B群	被験者	年齢	性別	SVA	KVA	減少率(%)	その他
1	青野	20	男	0.3	0.1	66.7	
2	加藤	20	男	1.3	1.1	15.4	
3	近藤	20	男	0.5	0.2	64.0	
4	服部	21	男	0.5	0.3	40.0	
5	内田	20	女	0.1	0.1	0.0	
				平均値 mean	0.54	0.36	37.21
				標準偏差 SD	0.46	0.42	29.39
				標本数 N	5	5	5

B群	被験者	年齢	性別	SVA	KVA	減少率(%)	その他
1	青野	20	男	0.1	0.1	0.0	
2	加藤	20	男	1.4	0.8	42.9	
3	近藤	20	男	0.4	0.1	65.0	
4	服部	21	男	0.5	0.2	52.0	
5	内田	20	女	0.8	0.4	50.0	
				平均値 mean	0.64	0.34	41.97
				標準偏差 SD	0.49	0.28	24.79
				標本数 N	5	5	5

## 考 察

A 群(球技)と B 群(球技以外)を比べてみると、やはり、A の方が、物を追いかける競技だけあって、素早い反応を求められる分、静止視力から動体視力の減少率は少なく、ボールが小さければ小さい競技ほど減少率が少ないのが興味深い。

また、A の中でも男性、女性で減少率が異なり男性の方が - 4 ~ 5% 少なかった。やはり女性より反応が早いためなのだろうか。

一方 B 群は人数が少なめではあるが、陸上をやっている者が特に減少率が大きく、物を追いかけるのに慣れていないのがわかった。

## 文 献

スポーツビジョンスポーツのための視覚学 長島宏之 スポーツビジョン研究会 1997.11.13  
スポーツと眼 石垣尚男 大修館書店 1992.4.10